



業績目録(両角和夫)

著者	東北大学史料館
号	1191
発行年	2012-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/62911

両角和夫教授業績目録

平成 24 年 3 月
東北大学史料館
(著作目録第 1191 号)



両角和夫教授略歴

生年月日	昭和22年12月1日生
本籍地	北海道札幌市中央区北1条西5丁目1番地
職名	教授
所属	東北大学大学院・農学研究科

最終学歴

昭和45年3月	北海道大学農学部農業経済学科卒業
昭和47年3月	北海道大学大学院農学研究科修士課程修了

職歴

昭和47年4月	農林省農林経済局国際企画課
48年4月	農林経済局保険管理課
51年4月	構造改善局農政部農政課
53年2月	経済局金融課
55年10月	農林省農業総合研究所調査部
60年12月	同所経済政策部金融研究室長
平成元年10月	同所企画連絡室企画科長
3年10月	同所経済政策部金融研究室長
8年10月	同所農業構造部上席研究官
10年4月	同所農業構造部長
11年4月	東北大学大学院農学研究科教授 (資源環境経済学専攻，農環境経済学講座，地域計画学分野)
21年4月	国立大学法人 東北大学大学院農学研究科教授 (附属先端農学研究センター，フィールド社会技術学分野)

学 位

平成 5 年 9 月 北海道大学から博士（農学）の学位授与
学位請求論文「現代農業金融問題の基本構造－
資金循環分析による接近－」

受 賞

1. JA 研究賞 平成10年度
「農協問題の経済分析」農業総合研究所, 1998年, 後に, 『農協再編と改革の課題』
として家の光協会から市販
2. 第 5 回「NGO/NPO・企業環境政策提言フォーラム」(2005.12.13)
主催：環境省, 「優秀に準ずる提言」に選考される

業 績 目 録

I. 著書・編著

1. 両角和夫（分担執筆）

日本農業の構造と展開方向（石黒重明，川口諦編著）
 農業総合研究所（研究叢書100号，後に農林統計協会から同名で出版）
 （1984.3）
 （執筆担当）

第5章 農業および農家をめぐる資金循環構造とその変化：pp185-232

2. 両角和夫（分担執筆）

金融自由化と農業金融（日本農業年報第33集）（大内力，佐伯尚美編）
 （1985.11）お茶の水書房
 （執筆担当）

第4部第1章 農家資金の動向と資産選択の変化：pp215-236

3. Kazuo Morozumi（分担執筆）

Farm Finance and Agricultural Development（1988.3）
 Asian Productivity Organization（APO）
 （執筆担当）

Section 2 -6 Money Flow in a Typical Village：pp215-233

4. 両角和夫

農地をめぐる諸問題（農業総合研究所編）
 農業総合研究所：（1987.7）
 （執筆担当）

第2章 マネーフローからみた土地改良事業の今日的課題：p35-71

5. 両角和夫（分担執筆）

農業新時代における農政対応（黒柳俊雄，京野禎一，飯島源次郎編）
 農林統計協会（1988.5）
 （執筆担当）

第4章 資金循環分析からみた現代農政の特徴：pp59-75

6. 両角和夫（分担執筆）

全土連三十年史
 全国土地改良事業団体連合会（1988.6）
 （執筆担当）

第4章第3節 ため池灌漑と水利組織－香川県四箇池土地改良区の事例－：pp144-158

7. 今村奈良臣・両角和夫（共著）
農業保護の理念と現実（食料・農業問題全集第15）
農山漁村文化協会（1989.5）
（執筆担当）
第2部 自由化の中の農業金融：pp146-303

8. FUMIO EGAITSU, KAZUO MOROZUMI, KEISUKE YOSHIMURA（荏開津典生・両角和夫・吉村啓介（共著）
AGRICULTURAL FINANCE IN JAPAN
国際食糧農業協会（1989.3）
（執筆担当）
第1部第1章 PRESENT STATE OF AGRICULTURE：pp.1-10
第2部 OUTLINE OF FARM FINANCE：pp.17-23
第4部 THE PRESENT STATE OF AGRICULTURAL COOPERATIVE BANKING：pp.47-64

9. 両角和夫（単著）
農協金融と地域について－制度的、沿革的にみた農協の性格
農林中金総合研究所：pp1-44（1991.2）

10. 両角和夫（分担執筆）
転換期における土地問題と農地政策（島本富夫，田畑保編）
農業総合研究所（研究叢書113号，後に農林統計協会から同名で出版）
（1992.3）
（執筆担当）
第9章 圃場整備と農地利用調整：pp323-358

11. 両角和夫（分担執筆）
農業信用保証保険制度二十五年史
農林漁業信用基金（1992.3）
（執筆担当）
第Ⅲ期（昭和53年－56年）：pp179-231

12. 両角和夫（分担執筆）
国際合作経済論文集錦（丁声俊，横川洋編）
中国商業出版社（1995.2）
（執筆担当）
第一編 日本の農協金融の現状と問題：pp39-51

13. 両角和夫（単著）
農協信用事業をめぐる二つの問題（日本の農業191）
農政調査委員会（1994.3）：pp1-99

14. 両角和夫（分担執筆）
 農業経済研究の動向と展望（荏開津典生・中安定子共編）
 富民協会（1996.4）
 （執筆担当）
 第15章 農業財政・金融：pp232-242

15. 田畑保・村松功巳・両角和夫（共編著）
 日本農業の担い手問題と担い手対策（後の出版で、「明日の農業をになうのは誰か」に改名）
 農業総合研究所（研究叢書119号，後に日本経済評論社）（1996.3）
 （執筆担当）
 第2部第4章 近畿・山陽中山間兼業深化地帯における担い手問題と対策の課題：pp169-190
 第3部第3章 資金対策－新たな経営主体＝投資の担い手の育成：pp301-318
 終章 担い手対策の課題と方向：pp351-370

16. 両角和夫（分担執筆）
 農協，生き残りへの模索（日本農業うごき118）（農政ジャーナリストの会編）
 農林統計協会（1996.10）
 （執筆担当）
 特集 農協系統金融はどう改革すべきか：pp39-62

17. 両角和夫（編著）
 農協問題の経済分析（後の出版で，農協再編と改革の課題に改名）
 農業総合研究所（研究叢書120号，後に家の光協会から出版）：（1997.3）
 （執筆担当）
 序章 本書の構成と課題：pp3-14
 第8章 農協の地域金融と組織運営体制問題：pp 191-228
 終章 農協の組織再編と地域対応の課題：pp229-235

18. 両角和夫（分担執筆）
 不良債権問題と農協系統金融（日本農業年報43，大内力，五味健吉編）
 農林統計協会（1997.6）
 （執筆担当）
 第Ⅱ部第Ⅲ章 農林系統金融の構造変化と組織・体制問題（第2部第3章）：pp118-135

19. 両角和夫（分担執筆）
 農業信用保証保険制度三十年史
 農林漁業信用基金（1997.3）
 （執筆担当）
 第Ⅲ期（昭和53年－56年）：pp194-233
 第Ⅵ期第3章2の2 農家負担軽減支援特別資金制度の創設：pp368-372
 第Ⅵ期第3章2の4 融資資金の拡充：pp379-380

21. 両角和夫（分担執筆）
 東・東南アジア農業の新展開－中国，インドネシア，タイ，マレーシアの比較研究（堀内久太郎・小林弘明編著）
 農林水産省国際農林業研究センター（研究叢書第7号，同時に農林統計協会から同名で出版）（2000.1）
 （執筆担当）
 第3章第2節 インドネシアにおける農村協同組合の問題と今後の課題：
 pp102-133

22. 両角和夫（分担執筆）
 食糧法システムと農協
 日本農業研究所編
 農林統計協会（2000.10）
 第7章 米流通金融の変貌と農協：pp223-243

23. 両角和夫（分担執筆）
 日本農業の再編と市場問題
 三国英実・来間泰男編
 筑波書房（2001.1）
 第9章 金融市場の変化と農協系統金融の課題：pp193-216

24. 両角和夫（分担執筆）
 新時代の農業経営への招待
 日本農業経営学会編
 農林統計協会（2003.3）
 第6章 経営発展と資金：pp120-131

25. 両角和夫（分担執筆）
 人類と穀類の運命交響曲
 角田重三郎
 東北大学農学部植物遺伝育種学研究室育翠会（2005.6）
 第2部 『「新みずほの国」構想と米エタノール化への展望』～角田先生の先見性に学ぶ～』：pp154-167

26. 両角和夫（責任編集）
全国農協合併推進支援基金の歩み－農協合併と合併支援制度－
全国農協合併推進支援基金（2006.5）：pp1-174
27. 矢部光保・両角和夫（編著）
コメのバイオ燃料化と地域振興－エネルギー・食料・環境問題
筑波書房（2010.2）：pp1-283
（執筆担当）
第1章 コメ・エタノール燃料の意義と政策の課題－「地域資源としてのコメ」という観点から－：pp15-39
終章 まとめと課題：pp273-281

II. 研究論文

1. 両角和夫
資金的側面からみた地域農業の今日的課題
農業信用保険協会，農業信用保証保険，通巻101号：pp20-30（1982.4）
2. 両角和夫
地域農業・農家の資金循環構造とその変化
農林中央金庫，農林金融，第36巻第3号：pp52-62（1983.3）
3. 両角和夫
連続冷害の農家経済に及ぼす影響と農業共済の役割
全国農業共済協会，月刊農業共済，第35巻第9号：pp75-88（1983.9）
4. 両角和夫
地域農業の資金循環構造－東北地方の一農村を例にして－
農業総合研究所，農業総合研究，第40巻第3号：pp131-179（1986.7）
5. Kazuo Morozumi
Japanese Agriculture as Viewed from Money Flow：A Case Study of a Tohoku Village
農業総合研究所，RESEARCH PAPER，no.1：pp1-27（1987.2）
6. 両角和夫
地域農業振興と補助金
農林公庫，公庫月報，第34巻第14号：pp22-28（1987.2）

7. 両角和夫
都市農協の金融自由化対応－先進的事例に見る実態と問題点
農林中金総合研究所，農林金融，第41巻3号：pp11-18（1988.3）
8. 両角和夫
土地改良投資をめぐる投資・資金循環問題
中国農業試験場，中山間地域の土地改良の課題と経営再編方向：pp26-39（1988.2）
9. 両角和夫
地域農業の組織化と農業金融
農林漁業金融公庫，公庫月報，第37巻3号：pp10-18（1989.6）
10. 両角和夫
転換期における農業金融の課題
農業共済基金，基金月報，第442号：pp2-6（1990.2）
11. Kazuo Morozumi
Rural Debt Problem Facing Full-time Farming Households in Japan
農業総合研究所 RESEARCH PAPER, no.10：pp25-35（1991.6）
12. 両角和夫
農協による地域開発への取り組みにおける問題とその要因
農業総合研究所，農総研季報，no.16：pp17-28（1992.12）
13. 両角和夫
近畿中山間地帯における担い手の展望－京都府和知町－
農業総合研究所，農総研季報，no.13：pp77-83（1992.3）
14. 両角和夫
最近における農家経済の動向－専門的農家の動向を中心に－
農業共済基金，基金月報 通巻466号：pp2-7（1992.3月）
15. 両角和夫
近畿中山間の通勤限界地帯における農業の担い手と行政及び農協の支援－京都府日吉町－
農業総合研究所，農総研季報，no.17：pp52-66（1993.3）
16. 両角和夫
系統信用事業の革新と組織再編
富民協会，農業と経済，第59巻2号：pp23-30（1993.2）

17. 両角和夫
現代農業金融問題と発生の背景
成城大学経済研究所，成城大学経済研究所年報，第6号：pp67-104（1993.4）
18. 両角和夫
中国中山間地域における水田農業の担い手の現状と対策－岡山県の対策と作東町の事例－
農業総合研究所，農総研季報，no21：pp29-33（1994.3）
19. 両角和夫
代表的地域における土地利用型農業の担い手像
農業総合研究所，農総研季報，no21：pp63-73（1994.3）
20. 両角和夫
地域振興における第3セクターの役割と金融の関わり
四国農業試験場，中山間地農業の担い手像，傾斜地農業研究資料第3号：pp1-23（1994.2）
21. 両角和夫
農協信用事業をめぐる問題とその背景－農協の存立条件と機能の変化－
農業総合研究所，農協問題の現状と展望：pp5-51（1994.4）
22. 両角和夫
地域農業における組織再編の問題と課題
中国農業試験場，中国農試経営研究資料118号：pp31-53（1995.3）
23. 広域合併農協における金融事業面について考える
農業開発研修センター，地域農業と農協，第23巻第4号：pp21-29（1995.3）
24. 両角和夫，藤島廣二，清水純一，高橋克也（共同執筆）
高速道路の延伸と卸売市場の野菜集荷構造の変化
財団法人高速道路調査会，高速道路と自動車，第39巻第1号：pp36-42（1996.1）
25. 両角和夫
協同組合金融の基盤変化と今後の課題
協同組合研究，第15巻第3号：pp15-20（1996.3）
26. 両角和夫
住専問題からみる系統金融の現状と課題
富民協会，農業と経済，第62巻第5号：pp23-31（1996.5）

27. 両角和夫
なぜ農協は住専問題に巻き込まれたのか
農山漁村文化協会，現代農業増刊 8 月号：pp196-204 (1996.8)
28. 両角和夫
農業金融制度をめぐる問題と課題（日本農業年鑑刊行会編）
家の光協会 日本農業年鑑1997年版：pp50-60 (1996.11)
29. 両角和夫（分担執筆）
中山間地域における地域資源管理組織の現状と課題（その 2）－大分県東国
東郡国見町調査結果－
農業総合研究所，農総研季報，no39：pp11-50 (1998.9)
30. 両角和夫
農協金融－21世紀への役割
農山漁村文化協会，現代農業 5 月増刊：pp204-209 (1998.5)
31. 両角和夫
農協金融の基本問題と今後の可能性－「地域金融」の可能性をめぐって－
九州農業経済学会，農業経済論集，第49巻第 1 号：pp15-26 (1998.6)
32. 両角和夫
農協の地域金融と地域運営
協同金融研究会，協同金融，No21：pp2-5 (1998)
33. 両角和夫・合田素行・西澤栄一郎・田上貴彦・宇野雅美
自足型社会としての島嶼地域・離島における生産・生活の存立条件－鹿児島
県沖永良部を例にして－
農業総合研究所，農業総合研究，第52巻 4 号：pp63－112 (1998.3)
34. Kazuo Morozumi
Some Issues on the Characteristics of Rural Cooperatives in Indonesia
農業総合研究所，RESEARCH PAPER, no.25：pp1-37 (1999.6)
35. 両角和夫
農協改革は農協再生の切り札たりうるか
農業と経済，第65巻第14号：pp5-12 (1999.11)
36. 両角和夫
ネットワーク型 JA 構想
全国農協中央会，月刊 JA 第46巻第 5 号（通巻543号）：pp51-54 (2000.5)

37. 西澤栄一郎・田上貴彦・合田素行・両角和夫・大村道明
鹿兒島県沖永良部島の水，土地利用，食生活－「自足型社会」の構築に向けて予備的考察
島嶼研究 1 号：pp10-17 (1999.11)
38. 大村道明・両角和夫・合田素行・西澤栄一郎・田上貴彦
北海道士幌町における農業と関連産業の LCA
日本農業経済学会論文集 (2000年度)：pp183-185 (2000.11)
39. Tagami,T, Goda,M., Morozumi,K., Nishizawa,E. and Uno,M.,
Designing an environmentally friendly system in an island : estimation of the environmental load from the agricultural production and the economic cost of the system,
Proceedings of the Forth International Conference of Eco-balance, (2000)
40. Omura,M.,Morozumi,K.,Goda,M., Tagami,T, and Nishizawa,E.,
A life cycle assessment of agricultural activity for designing a self-contained society : a case study of Shihoro town, Hokkaido,
Proceeedings of the Forth International Conference of Eco-balance, (2000)
41. 西澤栄一郎・田上貴彦・合田素行・両角和夫・大村道明
ヨーロッパ各国におけるバイオガスシステムの普及要因
日本農業経済学会論文集 (2001年度)：pp258-263 (2001.1)
42. 両角和夫
広域（合併）農協の経営戦略
東北農業経済研究第19巻第 1 号（通巻38号）：pp23-28 (2001.2)
43. 構造不況下における協同組合の事業環境と経営問題（座長問題提起）
協同組合研究第22巻第 1 号（通巻59号）：pp1-4 (2002.9)
44. 両角和夫
郵便局を主体とする農業地域開発・発展のためのエコファンド展開の可能性に関する研究
郵便貯金に関する研究論文集（14年度）東北郵政局：pp50-60 (2003.3)
45. 両角和夫
構造変化を支える支援組織－農協に焦点を当てて－
農業経済研究第76巻第 2 号：pp97-111 (2004.9)

46. 両角和夫
山・里・海のマイナスをつないでプラスに－いわて銀河系環境ネットワーク
の取り組み
現代農業11月増刊号：pp124-129（2004.11）
47. 両角和夫
産官学が拓く地域循環型社会－いわて銀河系環境ネットワーク
農村と都市をむすぶ第54巻第12号：pp50-61（2004.12）
48. 両角和夫
「限界集落」地域に対する政策的支援
農業と経済 第71巻第3号：pp75-80（2005.3）
49. Morozumi.k
Basic Framework of Research on the Establishment of Iwate Recycling Basin
Economic Area
Journal of Integrated Field Science Vol 3, Field Science Center, Graduate School
of Agricultural Science, Tohoku University, : pp85-94（2006.5）
50. 両角和夫
農業金融をめぐる新たな展開と課題
農業と経済 第72巻第7号：pp5-12（2006.6）
51. 両角和夫
新たな農協の存在意義と組織事業体制
－地域社会の持続的発展と環境問題解決への期待－
農業、会誌1488号：pp43-46（2006.12）
52. 両角和夫
農業金融の課題と方向
経営実務第26巻第3号：pp33-36（2007.3）
53. 両角和夫
日本－バイオ燃料のブームと日本農業の選択
農業と経済 第74巻第3号：pp79-87（2008.4）
54. 両角和夫
農林水産資源を利用した新たな地域産業の可能性
養鶏の友 通巻 第555号：pp40－45（2008.5）

55. 両角和夫
地域環境ビジネスの創出と循環型流域経済圏の構築－「いわて銀河系環境ネットワーク」の取り組み
生物資源 第2巻第3号：pp2-6 (2008.11)
56. 両角和夫
国際金融危機の発生と系統信用事業の基本課題
農業と経済 第75巻第8号：pp62-70 (2009.8)
57. Kazuo Morozumi, Daisuke Kunii, Kiyomi Wada
Integrated Regional Resource Management in the Kesen Cycle-Type River Basin Economic Zone –Restoration of the natural ecosystem and the business of charcoal electric power-
Tohoku Journal of Agricultural Research Vol.60 No.1-2, December 2009,pp1-21
58. 平口嘉典, 西橋俊, 両角和夫
農山村地域の持続的発展に果たす集落組織の機能と役割－岩手県陸前高田市O地区を事例にして－
農業経済研究報告（東北大学大学院農学研究科資源生物科学専攻資源環境経済学講座）第41号：pp49-68 (2010.2)
59. 市川哲也, 酒井亨, 両角和夫, 鈴木輝明
広田湾における流れと水塊構造の数値シミュレーション
海洋理工学会誌, Vol.15, No.2：pp125-135 (2009.11)
60. 両角和夫
循環型流域経済圏の構築と地域環境ビジネスの創出－木炭発電による地域環境ビジネスの試み－
人と国土21, 第36巻第1号：pp26-29 (2010.5)
61. 平口嘉典, 両角和夫
中山間地域における限界集落化抑止対策の検討－岩手県O地区における中山間地域等直接支払制度への対応と民俗芸能活動の展開から－
2010年度日本農業経済学会論文集 :pp268-275 (2010.12)
62. 両角和夫
地域環境ビジネスの創出と必要な社会システムの検討－岩手県生出地区における木炭発電の取り組みを事例に－
農業経済研究報告（東北大学大学院農学研究科資源生物科学専攻資源環境経済学講座）第42号：pp1-14 (2011.2.28)

63. 両角和夫
東日本大震災の影響と農村地域復興の課題
経営実務 2011年増刊号：pp68-75 (2011.9)
64. 両角和夫
農村社会の維持・存続の問題と課題
農業と経済 第78巻第2号：pp110-111 (2011.12)

Ⅲ. 書評

1. 両角和夫
農業金融の基礎と実際（竹中久二雄，日暮賢司著）
農林中央金庫，農林金融，第35巻3号：pp53 (1982)
2. 両角和夫（分担執筆）
農政の経済分析（上，下）（高島正彦，黒柳俊雄編著）
農業総合研究，第36巻第3号：pp197-210 (1982)
3. 両角和夫
水利の社会構造（玉城哲，旗手勲，今村奈良臣編）
農林水産図書資料月報，第34巻第4号：pp4-5 (1985.4)
4. 両角和夫
農業金融論（加藤譲著）
農業経済研究，第57巻第1号：pp54-56 (1985.3)
5. 両角和夫
地域調査法（古島敏雄，深井純一編）
農林中央金庫，農林金融第39巻4号：pp30-31 (1986.4)
6. 両角和夫
畜産金融調査の手引（農村金融研究会編）
農林統計協会，農林統計調査，42号：pp54-55 (1986)
7. 両角和夫
農林金融の実状（1986年版）（農林中央金庫調査部）
農林中央金庫，農林金融，第40巻1号：pp25 (1987.1)
8. 両角和夫
農政の論理を正す（荏開津典生著）
農林中央金庫，農林金融，第40巻9号：pp24 (1987.9)

9. 両角和夫
農協の畜産金融（中島明郁，高橋五郎著）
農林図書資料月報，第39巻3号：pp7（1988.3）
10. 両角和夫
農政改革（佐伯尚美著）
協同組合研究，第13巻第3号：pp68-69（1994.8）
11. 両角和夫
迷走する EC の農業政策（渡辺寛著）
農林水産図書資料月報，第46巻第2号：pp2-3（1995.2）
12. 両角和夫
農協運動の展開を問う（藤谷築次著）
地域農業と農協，第28巻第1号：pp63（1998.7）
13. 両角和夫
アンチ急進派の農政改革論（生源寺真一著）
農林水産図書資料月報，第50巻第3号（1999.3）
14. 両角和夫
現代農業の経営と経済（藤谷築次著）
農業経営研究，第37巻第3号（通巻102号）：pp74-75（1999.12）
15. 両角和夫
南部アフリカの農村協同組合－構造調整政策下における役割と育成（辻村英之著）
農業経済研究 第73巻第1号：pp25-26（2001.6）
16. 両角和夫
農業における投資・財政・金融の基本問題（亀谷きよし著）
農林水産省図書資料月報 第53巻10号（通巻627号）：pp2-3（2002.10）
17. 両角和夫
これからの農協－発展のための複眼的アプローチ（生源寺真一編著）
農業経営研究，第45巻第3号（通巻134号）：pp12-13（2007.12）
18. 両角和夫
現代JA論（福間完爾著）
協同組合研究第30巻3号：pp84-86（2011.9）

IV. 調査研究報告書

(科研費、科学技術振興事業団 (JST) 報告書)

1. 両角和夫
担い手問題の持つ意味－新農業基本法の検討における担い手問題の扱いを巡って
「21世紀の世界の食糧需給と地域農業発展の戦略」(平成8～9年度文部省科学研究費補助金 (基盤研究 (A)(1)) 研究成果報告書 (研究代表者 酒井惇一) : pp186-190 (1998.3))
2. 両角和夫
農協の新たな展開と地域農業マネジメント－大規模経営体育成の取り組みの前提条件－
「米価変動下における大規模経営のリスク管理に関する研究」(平成10年度～平成12年度科学研究費補助金 基盤研究 (c)(2) 研究成果最終報告書 研究代表 大鎌邦雄) 第5章 : pp23-29 (2001.3))
3. 両角和夫
農村地域の社会開発・運営と農協の役割－環境低負荷型社会の構築に向けて－
「地域社会開発・運営における農協の役割に関する研究」(平成12年度～平成13年度科学研究費補助金 (基盤研究 (c)(2) 研究成果報告書 研究代表 両角和夫) : 第1章 pp3-12 (2002.3))
4. 両角和夫
農業集落のゆくえを考える－論点の整理と今後の課題－
「農業集落の崩壊過程に関する研究」(平成13年度～平成15年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)(2)) 研究成果報告書 研究代表 両角和夫) : pp3-11 (2004.3))
5. 両角和夫
山形県における消滅集落の「消滅」の経緯等について－大江町を中心に－
「農業集落の崩壊過程に関する研究」(平成13年度～平成15年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)(2)) 研究成果報告書 研究代表 両角和夫) : pp134-145 (2004.3))

6. 両角和夫
ドイツにおけるバイオガス生産の現状と展望－再生エネルギー法改正と2004年以降の展開
「多様な循環システムの統合による循環型社会適応農業モデルの構築に関する研究」(平成14年度～16年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告 研究代表 工藤昭彦): pp190-199 (2005.3)
7. 両角和夫
「いわて発循環型流域経済圏の構築に関する研究」の基本枠組みと進捗状況
「いわて発循環型流域経済圏の構築に関する研究」中間報告(研究代表 東北大学大学院農学研究科教授 両角和夫): pp1-24 (2006.3)
8. 両角和夫
インドネシアにおける協同組合の今後の展望－マラン県プジョン酪農協同組合調査から
「発展途上国における市場制度の整備に関する調査－インドネシア農村地域を事例として－」(平成12年度～平成15年度科学研究費補助金(基盤研究(A))研究成果報告書 研究代表 米倉等): pp109-122 (2006.3)
9. 両角和夫
我が国における米のエタノール燃料化への課題－米国のトウモロコシ・エタノール燃料化の事例に学ぶ－
「バイオエタノール燃料の生産と利用に関する調査－米国およびブラジルにおける取り組み「いわて発循環型流域経済圏の構築に関する研究」平成17年度中間報告 その1, 研究代表者, 東北大学大学院農学研究科 両角和夫): pp1-8 (2006.3)
10. 両角和夫(編著)
バイオマスエタノール燃料国際シンポジウム－in 胆沢－(主催: 胆沢町(現奥州市), 独立行政法人 科学技術振興機構, 共催 NPO 法人岩手銀河系環境ネットワーク)「いわて発循環型流域経済圏の構築に関する研究」平成17年度中間報告 その2, 研究代表者, 東北大学大学院農学研究科, 両角和夫 pp1-158 (2006.3)
11. 両角和夫(編著)
「人口減少時代における農業・農村の持続性確保と効率的代謝・再編過程に関する研究」平成16年度～平成18年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書: pp1-269 (2007.7)

12. 両角和夫（編著）
「岩手県における新たな木炭ビジネス創出のための基礎調査」[いわて発循環型流域経済圏の構築に関する研究] 平成17年度中間報告 その3, 研究代表者, 東北大学大学院農学研究科, 両角和夫: pp1-50 (2006.3)
13. 両角和夫（編著）
「広田湾における漁業・漁村の経済・生活実態把握と漁村住民の環境意識に関する調査」平成18年度中間報告 その2, 研究代表者, 東北大学大学院農学研究科, 両角和夫: pp1-95 (2006.3)
14. 両角和夫（編著）
「自然資源を活かした新たな地域産業創出戦略シンポジウム－『地域発・いわて発ビジネスモデルをどのように創出するのか』(独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) 社会技術事業東北大学大学院両角和夫チーム, 共催 特定非営利活動法人岩手銀河系環境ネットワーク) 平成18年度中間報告 その3, 研究代表者, 東北大学大学院農学研究科, 両角和夫: pp1-69 (2006.9)
15. 両角和夫（編著）
「広田湾から地域社会を考える－「分水嶺から沿岸まで」: 気仙川流域－」(東北大学大学院農学研究科, 岩手銀河系環境ネットワーク) 平成18年度中間報告 その4, 研究代表者, 東北大学大学院農学研究科, 両角和夫: pp1-67 (2006.9)
16. 両角和夫（編著）
「農・山村における林業と住民生活実態に関する基礎調査」平成18年度中間報告 その5, 研究代表者, 東北大学大学院農学研究科, 両角和夫: pp1-56 (2006.9)
17. 両角和夫（編著）
「いわて発循環型流域経済圏の構築に関する研究」研究実施終了報告書, 研究代表者, 東北大学大学院農学研究科, 科学技術振興機構: pp1-182 (2008.5) (科学技術振興機構社会技術研究センターの WEB で公表)
18. 両角和夫（編著）
岩手県気仙地区における木質バイオマスエネルギーの利活用に関する研究 平成20-22年度 科学研究費補助金（基盤（B））課題番号20380123「地域環境ビジネスの創出に必要な社会システムの構築主体の形成に関する研究」平成20年度中間報告: pp1-36 (2009.3)

19. 両角和夫（編著）
循環型流域経済圏の構想と地域資源利用の統合的マネジメントに関する研究
平成20-22年度 科学研究費補助金（基盤（B））課題番号20380123「地域環境ビジネスの創出に必要な社会システムの構築主体の形成に関する研究」平成21年度中間報告：pp1-89（2010.3）
20. 両角和夫（編著）
大井沢エコミューゼの実現に向けて－中間取りまとめ－
JST 研究開発プログラム「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」, 研究開発プロジェクト「東北の風土に根ざした地域分散型エネルギー社会の実現」(平成20-21年度報告書)：pp1-74（2010.3）

（調査研究報告書）

1. 両角和夫
資金循環構造の変化と農業部門の動向
農村金融研究会，農林漁業部門における資金循環構造に関する調査報告書：pp89-107（1982.3）
2. 両角和夫
再編過程の地域農業と資金循環構造
農業総合研究所，経営複合化と土地管理主体：pp69-95（1982.3）
3. 両角和夫
地域経済における農業部門の資金循環構造
農業総合研究所，地域経済の変化と農業・農村：pp119-141（1982.3）
4. 両角和夫
社会勘定からみた農家の投資動向
農村金融研究会，農家資金需給動向等調査報告書（昭和56年度）：pp62-72（1982.3）
5. 両角和夫
農業・農家の投資と資金動向
農業総合研究所，総研月報，no.41：pp1-22（1982.3）
6. 両角和夫
G 県 X 氏（肥育牛協業経営）の事例
農業信用保険協会，畜産金融と農業信用補完制度のあり方に関する報告：pp37-47（1982.3）

7. 両角和夫
農業県単資金制度
農林中央金庫調査部，構造変革期における政策金融の課題：pp 105-131 (1983.3)
8. 両角和夫
第Ⅱ種兼業農家の投資と資金調達
農村金融研究会，農家資金需給動向等調査報告書（昭和57）：pp63-69 (1983.3)
9. 両角和夫
農業・農家をめぐる資金循環構造
農業総合研究所，地域経済の構造と主体：pp89-126 (1983.3)
10. 両角和夫・田村馨（共著）
農協組合員後継者問題に関する実態調査報告－福島県 M 農協の事例－
農林中央金庫調査部：pp1-60 (1983.3)
11. 両角和夫
I 県下の農協債権保全と協会保証
新金融システム研究会，農協の担保保証人徴求の実態と問題点：pp10-14 (1983.3)
12. 両角和夫
冷害時における地域農業および農家の資金循環構造
農業総合研究所，冷害に伴う地域資金循環構造および農家の資金対応の変化に関する緊急調査報告書：pp21-51 (1984.3)
13. 両角和夫
農家の投資行動分析（Ⅱ）
部門別農業投資経済効果調査報告書（昭和58年度）：pp100-117 (1984.3)
14. 両角和夫
部門別にみた農業投資経済効果
部門別農業投資経済効果調査報告書（昭和59年度）：pp54-58 (1984.3)
15. 両角和夫
A 銀行の農業融資
農村金融研究会，地方銀行の農業融資活動に関する調査報告書：pp1-11 (1984.3)

16. 両角和夫
冷害下における地域農業，農村の動向
日本農業研究所，農業共済金の農家経済等に及ぼす経済効果：pp18-38
(1986.3)
17. 両角和夫
脱「農協」化を目指す経営戦略－中国山陽地方 A 農協の事例
農業総合研究所，転換を迫られる農協信用事業－都市農協の金融自由化対応
の実態－：pp5-21 (1988.3)
18. 両角和夫
F 市農協の金融自由化対応
日経リサーチ，系統金融自由化問題調査：pp123-131 (1988.3)
19. 両角和夫
青森県・肉牛から野菜への作目転換
農村金融研究会，中核的農家の経営安定に関する実態調査報告書（昭和
63）：pp30-32 (1988.3)
20. 両角和夫
秋田県・稲作肉牛から椎茸への作目転換
農村金融研究会，中核的農家の経営安定に関する実態調査報告書（昭和
63）：pp32-35 (1988.3)
21. 両角和夫
岩手県門馬牧野組合の事例
農村金融研究会，農業生産組織をめぐる農協金融の実態と課題：pp10-17
(1989.3)
22. 両角和夫
土地基盤整備事業の展開と農地流動化
農業総合研究所，地域農業の展開と農地政策：pp103-113 (1989.3)
23. 両角和夫
農業地帯における農協信用事業の課題
農業総合研究所，地域農業の負債問題と農協の課題：pp7-30 (1990.3)
24. 両角和夫
地域特産物による農業振興への取り組み－大分県大山町農協の事例－
農業総合研究所，地域の活性化と農協経営－先進的農協の事例－：pp115-
131 (1990.3)

25. 両角和夫
園芸・繁殖複合経営の経営再建－鹿児島県の事例－
農村金融研究会，中核的農家の経営安定に関する実態調査報告書（平成元年
度）：pp30-40（1990.3）

26. 両角和夫
組勘の運用管理の適正化と経営指導
農村金融研究会，農家の経営意識・コスト意識と指導金融（平成2年度）：
pp10-15（1990.3）

27. 両角和夫
農家負債問題と農協の課題
農業総合研究所，地域農業の負債問題と農協の課題：pp121-127（1990.3）

28. 両角和夫
土地基盤整備と農地保全・流動化
農業総合研究所，中国中山間地の農業振興と農地問題：pp147-167（1990.3）

29. 両角和夫
山村における地域特産物の生産・加工への取り組み
社団法人地域社会計画センター，農協の地域社会開発事業への取り組みと農
協事業・組織等との結びつき効果に関する調査報告書：pp9-26（1990.3）

30. 両角和夫
酪農負債整理を契機にした「指導金融」の体制整備
農村金融研究会，農家の経営意識・コスト意識と指導金融（平成3年度）：
pp5-10（1991.3）

31. 両角和夫
農業機械効率化と畑作経営改善指導
農村金融研究会，農家の経営意識・コスト意識と指導金融（平成3年度）：
pp7-10（1991.3）

32. 両角和夫（分担執筆）
金融自由化対応の現状
農業総合研究所，農協の金融自由化対応－その現状と問題－：pp15-20
（1992.3）

33. 両角和夫
金融自由化対応における農協金融の強み
農業総合研究所，農協の金融自由化対応－その現状と問題－：pp35-47
（1992.3）

34. Kazuo Morozumi
Rural Report on the View Point of agricultural Economies for the Bagamoyo
Irrigation Development Project (JICA) : pp1-82 (1992.3)
35. 両角和夫
金融自由化問題と農協合併
農業総合研究所, 農協合併の実態と問題－金融自由化対応を中心に－ :
pp1-8 (1993.3)
36. 両角和夫
農協合併の実態調査 (東北地方 C 農協, 関東地方 D 農協)
農業総合研究所, 農協合併の実態と問題－金融自由化対応を中心に－ :
pp55-59 (1993.3)
37. 両角和夫
農業における担い手の組織化・法人化と農協金融の役割
農業総合研究所, 地域の担い手育成と農協の課題－農業法人等と第3セク
ターへの対応を中心に－ : pp7-37 (1994.3)
38. 両角和夫
金融自由化の下での農協経営の再編成
農政調査委員会, 自主流通米の価格形成メカニズムに関する理論的研究報告
書 : pp107-122 (1994.3)
39. 両角和夫
金融面からみた農協の地域振興への取組と金融の役割－農協アンケート調査
結果から－
農業総合研究所, 農協の地域振興と農協金融の役割－地域開発, 地場産業,
農業公社, 福祉事業への取組み－ : pp7-24 (1995.3)
40. 両角和夫
広島県 F 町－中山間地域における農業公社の生産活動
農業総合研究所, 農協の地域振興と農協金融の役割－地域開発, 地場産業,
農業公社, 福祉事業への取組み－ : pp48-53 (1995.3)
41. 両角和夫
宮崎県 G 町－高齢者福祉対策の担い手としての農協
農業総合研究所, 農協の地域振興と農協金融の役割－地域開発, 地場産業,
農業公社, 福祉事業への取組み－ : pp53-58 (1995.3)

42. 両角和夫
アンケート調査の分析
農業総合研究所，農協をめぐる環境変化と農協金融の対応－金融自由化，農業金融，組織・経営，高齢者福祉－：pp5-17（1995.3）
43. 両角和夫
宮崎県の野菜共販体制と地域別出荷の動向
財団法人高速道路調査会，高速道路が農業に及ぼす影響に関する調査報告書：pp73-81（1995.3）
44. 両角和夫
東京都中央卸売市場における集分荷構造の変化
財団法人高速道路調査会，高速道路が農業に及ぼす影響に関する調査報告書：pp82-90（1995.3）
45. 両角和夫
福岡市中央卸売市場における集分荷構造の変化
財団法人高速道路調査会，高速道路が農業に及ぼす影響に関する調査報告書：pp118-123（1995.3）
46. 両角和夫
今後の展望－農業生産と高速道路
財団法人高速道路調査会，高速道路が農業に及ぼす影響に関する調査報告書：pp140-146（1995.3）
47. 両角和夫
京都府亀岡の事例
農村金融研究会，農協における保証・担保人徴求に関する調査報告書（平成7年度）：pp15-19（1995.3）
48. 両角和夫
地域農業振興方策
社団法人JA長野開発機構，南佐久郡南部地区広域JA合併構想策定支援調査診断報告書：pp7-30（1995.3）
49. 両角和夫
認定農業者制度運用の実態と今後の課題
農政調査委員会，平成7年度新政策推進調査研究助成事業報告書：pp104-109（1996.3）

50. 両角和夫
経営体の育成と制度金融
全国農業改良普及協会，制度金融と経営支援の方策と手法：pp1-26（1997.3）
51. 両角和夫
農協による土地利用集積への取り組み－北海道十勝の事例
農政調査委員会，認定農業者の経営基盤のあり方に関する研究：pp62-65（1997.3）
52. 両角和夫
農協の農業融資への審査体制・資金対応
農村金融研究会，農業金融における担保保証人の徴求動向調査（平成8年度）：pp5-10（1997.3）
53. 両角和夫
認定農業者のスーパー資金制度利用と今後の課題
農政調査委員会，認定農業者の経営発展と地域との連携に関する調査研究：pp15-20（1998.3）
54. 両角和夫，
有限会社 O（北海道）
農村金融研究会，大規模農業経営体の金融に関する調査：pp81-85（1998.3）
55. 両角和夫
有限会社 C（北海道）
農村金融研究会，大規模農業経営体の金融に関する調査：pp86-90（1998.3）
56. 両角和夫
D 県 Y 農協
農林漁業信用基金，農外事業資金の資金動向と債権保全及び期中管理の実態について：pp52-57（1998.3）
57. 両角和夫
担保不足と農業融資の対応実態
農村金融研究会，農業金融における担保・保証人の徴求動向調査（平成9年度）：pp14-17（1998.3）
58. 両角和夫
E 県 M 農協と O 社の事例
農村金融研究会，農村地域活性化のための農村金融に関する調査（平成10年度）：pp42-47（1999.3）

59. 両角和夫
経営体育成と制度金融の課題－金融面から見た認定農業者制度の問題と課題－
農政調査委員会，認定農業者制度の課題と対応に関する調査研究報告書（平成10年度 新農政推進等調査研究事業）：pp35-57（1999.3）
60. 両角和夫
農事組合法人 E（北海道・東北）
農村金融研究会，大規模農業経営体における資金利用の実態調査－運転資金の利用を中心に－：pp41-45（1999.3）
61. 両角和夫
「稲作」部門 個人 A（北海道・東北）
大規模経営体の金融に関する調査研究：pp31-34（1999.3）
62. 両角和夫，合田素行，杉本義行
漁港・漁村整備の後継者確保に関する数量経済的研究
（財）漁港漁村建設研究所 平成11年度委託調査報告書：pp1-50（2000.3）
63. 両角和夫
A 県 T 農協
農林漁業信用基金 認定農業者（法人中心）の経営動向，資金・保証利用実態調査等について：pp91-94（2000.3）
64. 両角和夫（監修及び執筆分担）
高速道路が水産業に及ぼす影響に関する調査：pp1-237（2000.3）
日本道路公団委託，高速道路調査会受託（2000.3）
65. 両角和夫
合併 JA の新たな展開
21世紀における JA 運動の役割に関する研究調査報告書：pp25-31（2000.3）
財団法人 協同組合経営研究所
66. 両角和夫
B 県 C 農協
農林漁業信用基金 認定農業者（法人中心）の経営動向，資金・保証利用実態調査等について：pp39-43（2001.3）
67. 両角和夫
D 県 E 農協
農林漁業信用基金 認定農業者（法人中心）の経営動向，資金・保証利用実態調査等について：pp44-47（2001.3）

68. 両角和夫
開発にあたっての基本的考え方
農村金融研究会 農林水産制度資金の効果測定手法の整備に関する調査報告書：pp13-15 (2001.3)
69. 両角和夫
(有) E と J 農協
農村金融研究会 大規模農業経営体の金融に関する調査研究：pp33-38 (2001.3)
70. 両角和夫
第2章 B 県
農業改良資金協会 農業改良資金の債権管理・回収に関する調査報告書：pp15-41 (2001.3)
71. 両角和夫
第2章 B 県
農業改良資金 農業改良資金利用農家の経営改善と経営管理指導に関する調査報告書：pp12-26 (2001.3)
72. 両角和夫
K 県 2 農協の調査結果
農村金融研究会 農協系統信用事業をめぐる動きと保証保険制度の対応について：pp30-34 (2002.3)
73. 両角和夫
信用保証制度の効果測定をめぐる
農村金融研究会 農林水産制度資金の効果測定手法の整備に関する調査報告書：pp7-10 (2002.3)
74. 両角和夫
融資方針（アンケート調査結果分析のⅡ）
農村金融研究会 農協系統等信用事業をめぐる動きと保証保険制度の対応について：pp14-19 (2003.3)
75. 両角和夫
東海 C 県（I 農協・J 農協）調査結果
農村金融研究会 農協系統等信用事業をめぐる動きと保証保険制度の対応について：pp14-19 (2003.3)

76. 両角和夫
第3節 保証保険制度（第2章 本効果測定手法の要点・特徴と運用上の課題の一節）
農村金融研究会 農林水産制度資金の効果測定手法の整備に関する調査報告書：pp22-27（2003.3）
77. 両角和夫
第2部 第3章 C農協とI氏（うち、C農協部分を担当）
農村金融研究会 農協の農業融資に関する調査
農林中金総合研究所：pp27-31（2004.8）
78. 両角和夫
第2部 第9章 Q農協とV1及びV2氏（うち、Q農協部分を担当）
農村金融研究会 農協の農業融資に関する調査
農林中金総合研究所：pp75-80（2004.8）
79. 両角和夫
第2部第2節 有限会社 B農場，B農協
農村金融研究会 農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査
農林中金総合研究所：pp27-33（2005.8.30）
80. 両角和夫
調査の趣旨と結果の要約
平成17年度圃場整備完了地区の「望ましい水田農業の姿」に関する調査報告書
宮城県農業会議：pp1-10（2006.3）
81. 両角和夫
第1章 総括－酪農経営をめぐる環境変化と農業金融
農村金融研究会 農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査
農林中金総合研究所：pp1-10（2006.8.1）
82. 両角和夫
第2章第2節 B経営体とB農協
農村金融研究会 農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査
農林中金総合研究所：pp1-10（2006.8.1）
83. 両角和夫
環境と地域が両立する地域社会システムの試み－NPO 法人いわて銀河系環境ネットワークの目指すバイオマス利用
農業資源の保全と有効利用，財団法人日本農業研究所：pp199-222（2007.6）

84. 両角和夫
農協による農業経営体支援と農業融資－野菜・果樹経営を対象に－，農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査，農林中金総合研究所：pp1-8 (2007.8)
85. 両角和夫
S 経営体
農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査，農林中金総合研究所：pp1-8 (2007.8)
86. 両角和夫
(株) A 社
企業等の農業参入に関する民間金融機関の農業金融，信用補完に関する実態調査：pp33-36 (2008.3)
87. 両角和夫
B 信用金庫
企業等の農業参入に関する民間金融機関の農業金融，信用補完に関する実態調査：pp37-38 (2008.3)
88. 両角和夫
総括－農協による経営支援の実態と意味
平成19年度 農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査－農協による経営指導・支援の実態を中心に－ 農林中金総合研究所：pp1-8 (2008.8)
89. 両角和夫
第2章 1. B 農協
平成19年度 農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査－農協による経営指導・支援の実態を中心に－ 農林中金総合研究所：pp30-37 (2008.8)
90. 両角和夫
総括－JA による経営支援の実態と意味
平成20年度 大規模農業経営体の経営課題と金融に関する調査－稲作の事例－ 農林中金総合研究所：pp1-11 (2009.9)
91. 両角和夫
第6章 2. S 経営体
平成20年度 大規模農業経営体の経営課題と金融に関する調査－稲作の事例－，農林中金総合研究所：pp94-101 (2009.9)

92. 両角和夫, 平口嘉典
集落再生にかかる地域レベルの対策における集落機能低下抑制対策の評価－農村の持続的発展に果たす集落組織の機能と役割に着目して－
交付金プロジェクト研究「限界集落化が地域に及ぼす影響の解明と地域管理手法の開発」, 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所, 交付金プロ成果 No.9 : pp77-88 (2010.3)
93. 両角和夫
第1章 大規模肉用牛経営体調査の総括－最近10年間の肉用牛経営をめぐる大規模経営体の経営課題と農協の対応
平成21年度 大規模農業経営体の経営課題と金融に関する調査－肉用牛の事例－
農林中金総合研究所 : pp1-4 (2010.7)
94. 両角和夫
第1章 大規模花卉経営体調査の総括－最近10年間の花卉経営を通して考える－
2010年度 大規模農業経営体の経営課題と金融に関する調査－大規模農業(花卉)経営体の経営課題と金融に関する調査 農林中金総合研究所 : pp1-4 (2011.7)
95. 両角和夫
第5章第7節 P 経営体
2010年度 大規模農業経営体の経営課題と金融に関する調査－大規模農業(花卉)経営体の経営課題と金融に関する調査 農林中金総合研究所 : pp1-4 (2011.7)

V. 翻訳

1. 両角和夫
ナイジェリアの農業経済 (翻訳)
S.W.Skinner, The Agricultural Economy of Nigeria, USDA, ERS-Foreign 329, Wash. D.C., March 1972
農政調査委員会, のびゆく農業 399号 (1973.3)

2. 両角和夫
西ドイツ農政の回顧と展望（翻訳）
Josef Ertl, "Agrarpolitik seit 1969 – Rueckblik und Ausblik," Berichte ueber Landwirtschaft, Band 58(3), 1980, Zeitschrift fuer Agrarpolitik und Landwirtschaft herausgegeben vom Bundesministerium fuer Ernaehrung, Landwirtschaft und Foresten, Verlag Paul Parey, Hamburg und Berlin.
農政調査委員会, のびゆく農業 609号（1982.3）
3. 両角和夫
有機農業経営と販売条件－西ドイツ－（翻訳）
E.Boeckenhoff und O. Hertaeg, "Absatzbedingungen fuer alternativ wirtschaftende Betriebe", Berichte Ueber Landwirtschaft, Band 59(2), 1981, Paul Parey, Hamburg (Herausgegeben vom Bundesministerium fuer Ernaerung Landwirtschaft und Foresten)
農政調査委員会, のびゆく農業 635号（1983.3）
4. 両角和夫
西ドイツの農民的家族経営（翻訳）
Perspektiven Fuer den baeuerlichen Familienbetrieb, Agra-Europa 42/84 1998
農政調査委員会, のびゆく農業 712号（1986.3）

VI. 学会報告

1. Morozumi.K
Money Flow in Typical Village
Seminar on Farm Credit, Asian Productivity Organization, Tokyo, 1985
(Farm Finance and Agricultural Development, Asian Productivity Organization, pp215-233, 1988 に収録)
2. 茂野隆一, 両角和夫, 千葉修, 合田素行
Labor Supply of Farm Household in Japan
European Association of Agricultural Economics, Edinburgh, United Kingdom
1996.9.3
3. 両角和夫
協同組合金融の基盤変化と今後の課題
日本協同組合学会, 東京, 1996.5

4. Kazuo Morozumi
Agricultural Cooperative and Agricultural Finance System in Japan
ASIA-PACIFIC ECONOMIC COOPERATION (APEC), Taichung, Chinese Taipei, 1997.3, (Documents of Seminar on Agricultural Finance System, 2-2
Agricultural Cooperative and Agricultural Finance System in Japan : pp37-57に
収録)
5. 田上貴彦, 西澤栄一郎, 合田素行, 両角和夫
有機性廃棄物堆肥化施設の動向－有機性廃棄物リサイクル施設の日独比較研
究
環境経済・政策学会, 1998.10
6. 両角和夫
日本の農協系統金融の現状と課題
農協金融研究セミナー, ソウル, 韓国農協中央会, 1996.5
7. 両角和夫
主要農業地域における農業の担い手問題と担い手対策
日本農業経営学会, 札幌 (北海道大学)
1996.7
8. 両角和夫
農協金融の基本問題と今後の可能性－「地域金融」の可能性をめぐる－
九州農業経済学会, 福岡 (九州大学), 1997.10
9. 田上貴彦・合田素行・両角和夫
有機性廃棄物堆肥化施設の動向－有機性廃棄物リサイクル施設の日独比較研
究
環境経済・政策学会 東京 (慶應義塾大学), 1998.9
10. 両角和夫, 合田素行
自足型社会としての島嶼地域・離島における生産・生活条件－鹿児島県沖永
良部島を例にして
第15回生活経済学会研究大会, 東京 (日本女子大学), 1998.5
(本研究は, 1998年度の生活経済学会研究奨励交付対象研究)
11. 両角和夫
広域 (合併) 農協の経営戦略 (シンポジウム報告)
第35回東北農業経済学会, 福島市,
1999.8.25-26
本大会シンポジウム (統一テーマ「新基本法下における東北農業の課題と展
望」)

12. 両角和夫
インドネシア農村協同組合（KUD）の改革の課題－日本の農協の組織・基盤との比較を通して－
第19回日本協同組合学会，福岡市（九州大学），1999.10.1-3
13. 両角和夫
分科会座長 第2分科会「農業経営の資金問題」
平成11年度日本農業経営学会研究大会 1999.10.22-24
14. 大村道明，両角和夫，合田素行，田上貴彦，西沢栄一郎
北海道士幌町における農業を関連産業の LCA
日本農業経済学会，東京（東京大学），2000.3
15. Omura M, Morozumi,K, Goda, M, Tgami, T., and Nishizawa, E.,
A life cycle assessment of agricultural activity for designing a self-contained society : a case study of Shihoro town, Hokkaido
the forth International Conference of Ecibalance,2000.10
16. Tgami,T,Goda,M., Morozumi,K., Nisizawa,E, Omura,M.
Designing an environmentally friendly system in an island : estimation of the environmental load from the agricultural production and the economic cost of the system, the forth International Conference of Ecobalance,2000.10
17. 田上貴彦，合田素行，両角和夫，西沢栄一郎，大村道明
ヨーロッパ各国におけるバイオガスシステムの普及要因
日本農業経済学会，松山市（愛媛大学），2001.4
18. 大村道明，両角和夫，田上貴彦，西沢栄一郎，合田素行
農業分野への LCA の適用の動向と展望
日本農業経済学会，阿見町（茨城大学），2002.3
19. 両角和夫
構造変化を支える支援組織－農協に焦点を当てて－（シンポジウム報告）
日本農業経済学会，東京（日本大学），2004.3
20. 両角和夫（招待講演）
米の Etaノール利用に向けた政策的課題
社団法人化学工学会東北支部，米沢市（山形大学），2007.8.6

21. 両角和夫（招待講演）
 バイオ燃料の社会的意義と評価－米のバイオエタノール燃料化と政策の課題
 に焦点を当てて
 農業機械学会東北支部，福島県農業総合センター，2007.8.7

22. 両角和夫
 農林水産資源を活用した地域基盤産業の創出と人材育成
 東北大学・農学・生命科学融合シンポジウム，仙台市（東北大学），
 2007.12.4

23. Morozumi,K
 Development of Regional Eco-business and Social System
 Session5 -Regional Eco-business and Human Resource Development 2008
 International Research Meeting on resource and Environmental Economics
 October, 17-19, 2008

24. 両角和夫
 バイオマス資源の利活用を目指す地域環境ビジネス創出の試み
 第5回 もったいない学会
 シンポジウム『低エネルギー社会を作ろう』，東京（東京大学）2008.11.26

25. 平口嘉典，両角和夫
 中山間地域における限界集落化抑止対策についての検討－岩手県O地区に
 おける中山間地域直接支払い制度への対応と民俗芸能活動の展開から－
 2010年度日本農業経済学会，京都大会（京都大学），2010.3

26. 両角和夫
 農業問題と環境問題の一体的解決を目指す「社会技術」研究－農学分野での
 社会技術と自然科学の融合による新たな研究領域－
 2011年度 日本農業経営学会特別セッション1，東京都（早稲田大学），
 2011.6.11

27. 両角和夫
 東日本大震災と地域の資源を活用した岩手県陸前高田市の地域づくり
 2011年度日本共生学会東北支部研究会，仙台市（東北大学），2011.6.25

28. 両角和夫
 東北大震災下の東北農業・農村－座長解題
 2011年度日本農業経営学会研究大会，津市（三重大学），2011.9.9

29. 両角和夫
東日本大震災と農村復興の課題－循環型流域経済圏の構築を基礎に－
東北農村生活研究フォーラム，名取市（イオンホール）2011.10.22
30. 両角和夫
東日本大震災からの復興と地域社会の維持・存続の課題
大震災からの農業・農村の復興に関する技術シンポジウム，仙台市（東北大学）2011.12.7

VII. 総説・その他

1. 両角和夫
調査研究と家族農業－農業経済分析の視点から－
農林統計協会 農林水産図書資料月報，第33巻第7号：（1982.7月）
2. 両角和夫
農業経営大辞典 学習研究社（1984）
（執筆担当）県単資金：pp93-96
3. 両角和夫
産直に活路を開く－田無市農協にみる販売戦略－
農林リサーチセンター，農林リサーチ：pp6-8（1985.3）
4. 両角和夫
農業金融をめぐる情勢と今後の対応
北海道農業会議，北方農業：pp4-7（1985.3）
5. 両角和夫
日本の農業－イエスタデイズ・ファーマーリング
農林統計協会 農林水産図書資料月報 第40巻第1号（1989.1）
6. 両角和夫
「農協」脱皮への模索
全国協同出版，経営実務，第44巻第10号：pp66-75（1989.10）
7. 両角和夫
「地域的融資方式」による地域農業の再構築
経済法令研究会，農協金融法務，213号：pp2-6（1990）

8. 両角和夫
農業振興により地域活性化に挑む
全国協同出版，農業協同組合経営実務，第46巻第9号：pp84-91（1991.9）
9. 両角和夫
農業経営ハンドブック
全国農業普及協会
（執筆担当）
第1章5節の5 農家負債問題：pp70-73（1993.10）
10. 両角和夫
金融の論理から「組織経営体」の在り方を考える
農林公庫，公庫月報，第41巻第3号：pp2-3（1993.3）
11. 両角和夫
信用事業からみたJA革新への課題
月刊JA，第39巻第6号：pp54-58（1993.6）
12. 両角和夫
迫られる長期的，構造的な要因の検討
時事通信，農林経済，第8659号：pp2-5（1993）
13. 両角和夫
経営体の育成と農業金融
農業改良資金協会 農業改良資金，125号：pp2-3（1994.5）
14. 「新政策」と農業金融の展開
農業開発研修センター，地域農業と農協，第23巻第3号：pp24-3（1994.12）
15. 両角和夫
JA経営における「地域社会対応」－高齢化福祉対応への取組スタンス
全国協同出版，農業協同組合経営実務，第49巻第4号：pp25-30（1994.4）
16. 両角和夫
今日の農協経営問題をどう理解するか
農林中金総合研究所，調査と情報，第95号：pp2（1994）
17. 両角和夫
信用事業の問題点
全国協同出版，協同組合経営実務，第49巻第10号：pp26-31（1994.10）

18. 両角和夫
金融自由化と農協合併効果
JA 長野信連, 信連情報, 第544号 : pp20-31 (1995.3)
19. 両角和夫
もう一つの農協合併評価－信用金庫と信用組合からみた農協合併－
JA 長野信連, 信連情報, 第545号 : pp6-10 (1995.4)
20. 両角和夫
農村ではじめる女性起業－もう一つの夢づくり (宮城道子編著)
社団法人農山漁村・生活活動支援協会 (1996)
(執筆担当)
新しい農業の担い手育成と金融による支援 : pp99-102
21. 両角和夫
農協系統金融の動向と課題－地域金融への取り組みを中心に－
時事通信, 農林経済, 9008号 : pp2-5 (1997)
22. 両角和夫
わが国農業の担い手はどうなる
農畜産振興事業団 畜産の情報 (国内編) 115号 : pp2-3 (1999)
23. 両角和夫
日本におけるバイオガス・プラントの可能性
農林金融, 第52巻第11号 (通巻645号) : pp28-29 (1999. 11)
24. 両角和夫
分科会報告 2. 農業経営における資金問題,
農業経営研究, 第37巻第 4 号 (通巻103号) : pp68 (2000.3)
25. 両角和夫
これからの農業投資と制度資金を考える
社団法人 農業資金改良協会, 農業改良資金162号 : pp2-4 (2000.10)
26. 両角和夫
新しい農業・農村像を求めて
農林統計協会 農林統計調査, 第51巻 1 号 (通巻598号) : pp2-3 (2001.1)
27. 両角和夫
日本農業の新たな可能性
国際食糧農業協会 世界の農林水産, 2001年11月号 (通巻750号) : pp2-3
(2001.11)

28. 両角和夫
農業集落のゆくえを考える
農林統計協会 農林統計調査, 2002年9月号 (通巻618号) : pp2-3 (2002.9)
29. 両角和夫
農協改革
河北新報, 9月16日, 河北新報社 (2002.9.16)
30. 両角和夫
地域運営主体への抜本的改革を
フォーラム JA 教育文化 2003年4月号 (No.32) : pp2-3 (2003.4)
31. 両角和夫
循環型流域経済圏の構築と農協の新たな役割
地域農業と農協, 第35巻第4号 : pp2-3 (2006.3)
32. 両角和夫
米によるエタノール燃料製造と利用を検討する 農業政策・地域政策としての転作田の活用も
時事通信社 農林経済, 9784号 (2006.5.29)
33. 両角和夫
責任増す農協系統金融の課題
北海道協同組合通信社 ニューカントリー627号 : pp70-71 (2006.6)
34. 両角和夫
動産担保等を活用した畜産経営における資金調達の新たな資金調達方法の検討
畜産コンサルタント No506 : pp50 (2007.2)
35. 両角和夫
経営リスクを補完する措置が必要－拡充された制度資金を評価する
DAILYMAN, VOL.57 No.3 : pp20-21 (2007.3)
36. 両角和夫
米からエタノール高い潜在力, 実施の議論を
日本農業新聞 (論点) (2007.4.14)
37. 両角和夫
間伐材使い木炭発電
日本農業新聞 (論点) (2007.7.31)

38. 両角和夫
農林資源の活用に着目 地域産業の革新と人材育成
日本農業新聞（論点）（2007.11.31）
39. 両角和夫
米国のバイオ燃料ブームと農家 新世代農協の動向参考に
日本農業新聞（論点）（2008.3.4）
40. 両角和夫
見習うべきはフランス 穀物原料のバイオエタノール
日本農業新聞（論点）（2008.7.28）
41. 両角和夫
水田を最大限使おう 米は地域資源
日本農業新聞（論点）（2008.12.29）
42. 両角和夫
環境共生のモデルに 集落の「エコミュゼ」化
日本農業新聞（論点）（2009. 6.8）
43. 両角和夫
間伐材生かし活性化 日欧に見る地域振興
日本農業新聞（論点）（2010.5.3）
44. 両角和夫
東日本大震災からの復興と地域社会の維持・存続をめぐる研究の課題
農業経営通信, No.248（2011.7）
45. 両角和夫
東日本大震災からの復興と「循環型流域経済圏」の構想
農林金融, 第64巻第7号（通巻785号）：pp54-55（2011.7）
46. 両角和夫
地域再生を主体的に JA の役割と期待
日本農業新聞（論点）（2010.11.22）
47. 両角和夫平成23年5月16日（日本農業新聞）
地域資源の活用鍵に 東日本大震災からの復興
日本農業新聞（論点）（2011.5.16）

48. 両角和夫
東日本大震災の農業・農村への影響と復興の課題をどうとらえるかー岩手県
陸前高田市を事例にしてー, 農林水産生産研究所レビュー Primaff Review
No.44,2011.11
49. 両角和夫
資源生かし産業創出 先人に学ぶ震災復興
日本農業新聞 (論点) (2011.12.19)

VIII. 新聞等

<新聞>

1. 平成16年3月13日 (岩手東海新聞, 胆江日日新聞, 東海新報)
「流域の課題まとめて解決 環境ビジネスあります」
2. 平成16年6月23日 (河北新報)
「農業政策を分析する」
3. 平成16年11月9日 (胆江日日新聞)
「農作物からエネルギー 可能性探り導入へ」
4. 平成16年11月21日 (胆江日日新聞)
「胆沢町の新エネルギー 『コメ』有力, 効果大」
5. 平成16年11月23日 (岩手日報)
「胆沢・新エネ導入シンポ 採算性など議論」
6. 平成16年12月26日 (朝日新聞)
「自然資源生かし産業基盤づくり」
7. 平成17年1月29日
「新型藻礁ブロック開発」(河北新報)
「間伐材, 海草育成に一役」(日本経済新聞)
「広田湾でNPO実験」(岩手日報)
「広田湾に人工藻礁沈設」(東海新報)
8. 平成17年2月19日 (河北新報)
「循環社会へ理解深める 仙台でバイオマス研修会」

9. 平成17年 4 月 1 日（日本経済新聞）
「山の資源で海を再生 陸前高田の広田湾」
10. 平成17年 6 月12日
「バイオマスエネルギーの可能性について考えたシンポジウム」(十勝毎日新聞)
「バイオマスの今後は 帯広でシンポ」(北海道新聞)
11. 平成17年 6 月19日（東海新報）
「陸前高田で保全考える会」
12. 平成17年6月23日（河北新報）
「循環型社会確立へ『農協組織活用を』」
13. 平成17年11月 3 日（日本経済新聞）
「住民の利点，説明を」
14. 平成17年11月28日（岩手日報）
「燃料化 県内で活発」
15. 平成18年 1 月11日（日本農業新聞）
「宮城県で研修会 バイオマス利活用探る」
16. 平成18年 1 月28日（東海新報）
「広田湾に藻礁沈設」
17. 平成18年 2 月 2 日（岩手日報）
「藻礁沈設，海中林に」
18. 平成18年 2 月19日（東海新報）
「再生に挑む（１）藻礁つくり海中林造成」
19. 平成18年 2 月26日（東海新報）
「再生に挑む（２）間伐材と鶏ふん炭化物」
20. 平成18年 3 月 5 日（東海新報）
「再生に挑む（３）磯焼けから海を守る」
21. 平成18年 3 月12日（東海新報）
「再生に挑む（４）新エネルギー活用に期待」

22. 平成18年 3月19日（東海新報）
「再生に挑む（５）大量に放置される間伐材」
23. 平成18年 3月24日（HNA Witzenhausen V.）
“Japan will von uns lernen”
24. 平成18年 4月25日（日本農業新聞）
「流域経済圏の構築急げ」
25. 平成18年 8月15日（日本農業新聞）
「農協の新たな大義名分に」
26. 平成18年 8月29日（岩手日報）
「広田湾守る英知結集 陸前高田でシンポジウム」
27. 平成18年 8月29日（東海新報）
「藻礁アラメ生育順調」「広田湾めぐりシンポ」
28. 平成18年 8月31日（岩手日報）
「広田湾 磯焼け改善に光」
29. 平成18年10月20日（河北新報）
「宮城の農産物 バイオ燃料に」
30. 平成19年 3月10日（河北新報）
学び極めて 東北大100年 第3部地域とともに ⑦完
「循環型社会の実験－陸前高田市 資源活用へ知恵提供」
31. 平成20年 2月17日
「「磯焼け」被害拡大 アワビ、ウニ 漁獲量が激減、陸前高田・広田湾 地元産業界、人口藻礁を実験」
32. 平成20年11月11日（日本農業新聞、宮城版）
「二酸化炭素大幅削減 3地域で研究推進 東北大の両角教授ら バイオマスを活用」
33. 平成20年11月11日（毎日新聞、宮城版）
「地域分散型エネルギー社会 研究開発プロジェクト 東北大などが開始 埋もれた資源活用へ」

34. 平成20年11月11日（朝日新聞、宮城版）
「山村の廃棄物活用を 環境と経済両立へ間伐材など燃料に 東北大学教授等
地域住民と実証研究 CO₂削減狙う」
35. 平成20年11月11日（河北新報）
「温室ガス減に地域資源活用 東北大院農学研 ビジネス形態を構築 エネ
ルギー自給社会 山形・西川で具体化」
36. 平成20年11月11日（朝日新聞、岩手版）
「間伐材や家畜のふん エネルギーに 山村資源で CO₂削減 東北大などで
研究
37. 平成20年12月26日（東北大学新聞）
「地域分散型エネルギー社会へ 間伐材や藻礁を利用」
38. 平成21年 1月21日（朝日新聞秋田版）
「里山廃物 地域で活用 間伐材で暖房／木炭ガス発電 東北大」
39. 平成21年 5月31日（岩手日報）
「農業を生かした地域振興考える 盛岡でフォーラム」
40. 平成21年 6月 2日（盛岡タイムス）
「食品と農業 いわて銀河系環境ネットワーク 特別フォーラム開く 安全
は守られるか 松延洋平氏が講演」
41. 平成22年 5月28日（岩手日日）
エタノール化技術研究開発 調査委員会が始動 奥州市 年度内に報告書

<テレビ放映>

1. 平成17年11月4日（金）19：30～ NHK クローズアップあきた2005
「限界集落～村はよみがえるか～」(両角和夫)
2. 平成19年 4月27日（金）19：30～ クローズアップ東北
「農地は“油田”になるか～バイオ燃料で変わる農業」(両角和夫, その他)
3. 平成19年 5月15日（金）17：30～ NHK クローズアップ現代
「お米からバイオ燃料」(両角和夫)
4. 平成21年 1月18日 YTS 山形テレビ 提言の広場
大井沢エコミュゼ～エネルギー自給社会を目指して～
(両角和夫, 大川健嗣, 佐藤征夫)

5. 平成21年12月21日 東日本放送 東北大学の新世紀
(内容：大学院農学研究科 両角和夫教授の研究紹介)
6. 平成23年4月2日 NHK ニュース深読み(土：8：15-9：00)
(内容：東日本大震災の現状と対策について)
7. 平成23年5月7日 CS アサヒ アサヒーニュースター：ニュースにだまされるな
(神野直彦東大名誉教授，片山総務大臣他と，東日本大震災対策について)